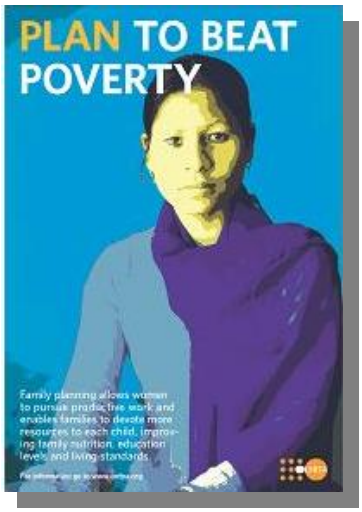
国連人口基金 展示物貸出しのご案内

国連人口基金（**UNFPA**）では、人口問題や **UNFPA** の活動を紹介するパネル・バナー等の展示物を無料で貸出しています（送料はご負担いただきます）。学校や企業、自治体、市民団体等のイベント/セミナーでの展示にぜひご活用ください。なお、展示物の数が限られているため、貸出しできる展示物および展示期間は、ご相談の上決定させていただきます。ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。



<u>記載内容</u>

1. 申込方法 ...p.1
2. 展示物リスト ...p.2
3. 展示方法及び留意点 ...p.18
4. その他 ...p.20

【1. 申込方法】

下記からダウンロードした申込みフォームに必要事項をご記入いただき、Email（tokyo.office@unfpa.or.jp）又は FAX（03-5467-8556）にてお送りください。http://tokyo.unfpa.org/ja/how-get-involved-donate

【2. 展示物リスト】

パネル 1）国連人口基金の活動		
パネル	名称	サイズ
IECPN002J	国連人口基金ロゴ	W75cm×H45cm
IECPN002E	UNFPA Logo	W25cm×H75cm
IECPN003J	国連人口基金の活動	W75cm×H100cm
IECPN003E	UNFPA's Activities	W25cm×H75cm
IECPN006J	ジェンダーの平等	W75cm×H100cm
IECPN006E	Promoting Gender Equality	W25cm×H75cm
IECPN007J	人道支援活動	W75cm×H100cm
IECPN007E	Assisting in Emergencies	W25cm×H75cm
IECPN012	世界人口白書	W75cm×H100cm
IECPN019	お母さんの命を守る	
IECPN020	事務局長	
IECPN022	人口 70 億人の世界	
IECPN023	人口統計と政策提言	
IECPN024	ミレニアム開発目標	
IECPN028	国連人口基金から日本への支援	
パネル 2）70 億人の世界		
IECPN029	70 億人の世界、7 つの課題	W60cm×H84cm
IECPN031	課題 1：貧困と不平等	
IECPN032	課題 2：女性と少女	
IECPN033	課題 3：若者	
IECPN035	課題 5：環境	
IECPN036	課題 6：高齢化	
IECPN037	課題 7：都市化	
パネル 3）国連人口基金の活動@アフガニスタン		
IECPN039	国連人口基金の活動@アフガニスタン	W60cm×H84cm
IECPN040	32 年ぶりに行われる人口調査に使用される調査票	
IECPN041	人口調査用の地図作成	
IECPN042	事前の世帯調査	
IECPN043	人口調査員・監督者の訓練	
IECPN044	人口調査員として活躍するフェルシュタさん	
IECPN045	人口調査員が家庭を一軒ずつ回る	
IECPN046	読み書きができない女性が、調査票に指紋押印	
IECPN047	人口調査票をチェックするミナさん	
IECPN048	女性医療従事者 1000 人の一般女性に対したった 1 人	
IECPN049	マラライ産科病院で手術を待つ女性たち	
IECPN050	助産師教育プログラムを受けるロヤさん	W60cm×H84cm
IECPN051	「家族の健康の家」で学ぶ助産師たち	

IECPN052	国連人口基金（UNFPA）が支援している移動式診療所	
IECPN053	若年結婚	
IECPN054	ジェンダーに基づく暴力（GBV）に関する研修	

パネル 4）世界人口デー		
IECPS002J	妊産婦の命を救う	W32cm×H57cm
IECPS002E	「Plan To Beat Maternal Death」	
IECPS003J	貧困とたたかう ①	
IECPS003E	Poster「Plan To Beat Poverty」①	
IECPS005E	「Plan To Gain Equality」①	
IECPS006J	平等な社会をつくる ②	

バナー		
IECBN000	UNFPA-because everyone counts.	W59cm×H178cm
IECBN001	それは僕の仕事	
IECBN002	Men at Work?	
IECBN005	緊急人道支援	
IECBN006	HIV/エイズ	
IECBN007	一人ひとりは数字じゃない	
IECBN008	人口 70 億人の世界	
IECBN010	ミレニアム開発目標(MDGs)	
タペストリー		
IECTP001	海外における国連人口基金の人道支援活動	W84cm×H119cm
70 億人トリビアカード		
トリビアクイズ（カード）一式		W15.5cm×H21.5cm

パネル 1）国連人口基金の活動

IECPN002:　国連人口基金ロゴ

IECPN003：　国連人口基金の活動

IECPN006：ジェンダーの平等

IECPN007：人道支援活動

IECPN012：世界人口白書

国連人口基金『世界人口白書』 *State of World Population*

国連人口基金は、人口問題に関する課題を提示し、詳細で信頼性のあるデータと分析を提供する報告書『世界人口白書』を、1978年から毎年発行しています。扱うテーマは毎年異なり、リプロダクティブ・ヘルス/ライフ（性と生殖に関する健康/権利）、ジェンダーの平等、人口移動、貧困削減、環境、都市化など、人口に関する様々な課題を取り上げています。

国連公用語である英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、アラビア語の他に、ドイツ語、インドネシア語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、日本語に翻訳されています。また、ヒンドゥー語、グジャラート語、マラーティー語、オリヤー語、マラヤーラム語、テルグ語、タミル語、ウルドゥー語、ベンガル語などの言語の要約版もあります。

『世界人口白書』日本語版に関しては、1994年～2000年の要約、そして2001年以降は全文PDFファイル形式で国連人口基金東京事務所のホームページからダウンロードできます（www.unfpa.or.jp）。英語やその他の言語の『世界人口白書』をご希望の方は、国連人口基金本部のホームページから入手可能です（www.unfpa.org）。また、全国16か所の国連事務所書籍販売も閲覧できます。購読をご希望の方は、下記の国連人口基金のパートナーNGOであるジョイセフまでお問い合わせください。

財団法人　ジョイセフ　世界人口白書注文係
Tel:03-6268-3150 / Fax:03-3235-6776
E-mail: info2@joicfp.or.jp
〒162-0843 東京都文京区市谷田町1-10 保健会館新館8階

UNFPA *State of World Population*

UNFPA *State of World Population* is a report offering detailed, reliable data on the worldwide challenge of population issues. Since 1978, the report has been published on a different theme every year. The full text of the *State of World Population* is available not only in the UN's official languages (English, French, Spanish, Russian and Arabic), but also in German, Portuguese, Indonesian, Italian, Korean and Japanese. A summary of the report is also available in Hindu, Gujarati, Marathi, Oriya, Malayalam, Telugu, Tamil, Urdu and Bengali.

IECPN019：お母さんの命を守る

お母さんの命を守る　Save Mothers

すべての人に価値がある。だから、国連人口基金は活動を続けます。

国連人口基金東京事務所では、世界のお母さんの置かれている状況について人々も多くの人に知ってもらい、行動を起こすきっかけとなるよう、さまざまなパートナーと協働し、啓発活動を行っています。特に輸送に唯一の持続的なアプローチができるよう、政府や NGO と連携しながら、日本国内で広報や支援活動を行っています。具体的にはニューヨークの本部や、実際に支援プログラムに当たっている開発途上国のオフィスと連携しつつ、「お母さんの命を守る」ことの大切さや、妊娠・出産の問題、男性の育児参加について日本の方々に呼びかけています。また、政策決定者である国会議員の方々に対し、勉強会や途上国状況などを実施している他、一般の方に向けて、講演会やイベントなど、多様な啓発活動も行っています。これらの活動を通じて得られた収益の一部は、国連人口基金の活動のために使わされています。
私たちにできることを、ぜひ一緒に考えてみませんか？

（あなたにできること）→詳しくは、東京事務所のホームページ（www.unfpa.or.jp）をご覧ください。
・世界の人口問題について知ろう！ ― まずは人口問題を知ることから始めてみませんか。
・みんなで広めよう！ ― 人口問題について、ご自分のブログで紹介したり、ソーシャルメディアで情報を発信したりすることで、周りの方々にも興味を持ってもらえます。イベントを企画される際には、パネルやパネーなどの展示物を利用することもできます。
・一緒に議論しよう！ ― 国連人口基金東京事務所では、ボランティアインターンシップとして一緒に働いてくださる方を募集しています。
・寄付をしよう！ ― あなたの気持ちが、世界お母さんの命を守る活動につながります。

UNFPA - because everyone counts.

UNFPA Tokyo Office promotes　understanding on global issues, especially maternal health in developing countries, by holding various events with partners in government and civil society, and by sending messages on the importance of "Saving mothers". Maternal health relates to pregnancy and childbirth, and even to male involvement in childcare.
It covers from advocacy activities with members of Parliament, information and　campaigns with partner NGOs, to raising awareness of maternal health among the general public. Donations through these activities are used in programmes to save mothers in the priority countries through UNFPA's Thematic Fund for Maternal Health.

(What we can do)
- **Let's learn more about population issues and maternal health problems around the world!** - You can visit the UNFPA Tokyo Office website for further information.
- **Let's share with your friends and colleagues what you know about population issues and maternal health problems!** - You can introduce them through your blogs and/or social media, and organize seminars and events by using panels, posters and photos from the UNFPA Tokyo Office.
- **Let's act together!** - You can participate in these activities as volunteers and interns of the UNFPA Tokyo Office.
- **Let's donate to save mothers!** - You can join the movement to save mothers by your donation.

IECPN020：事務局長

国連人口基金事務局長
ババトゥンデ・オショティメイン

Dr.Babatunde Osotimehin,
UNFPA Executive Director

国連人口基金は、すべての女性、男性、そして子どもが健康な生活を送り、平等な機会を享受できる世界を実現するために設立された国連機関です。
国連人口基金は、
貧困を減らし、望まない妊娠をなくし、すべての出産が安全に行われ、
すべての若者がHIV/エイズの脅威にさらされることなく生活し、
すべての女性と少女が尊重され、尊厳を保ち生命を活かすことができるよう、
人口統計データを用いながら、様々な国の政策を支援しています。

すべての人に価値がある。だから、国連人口基金は活動を続けます。

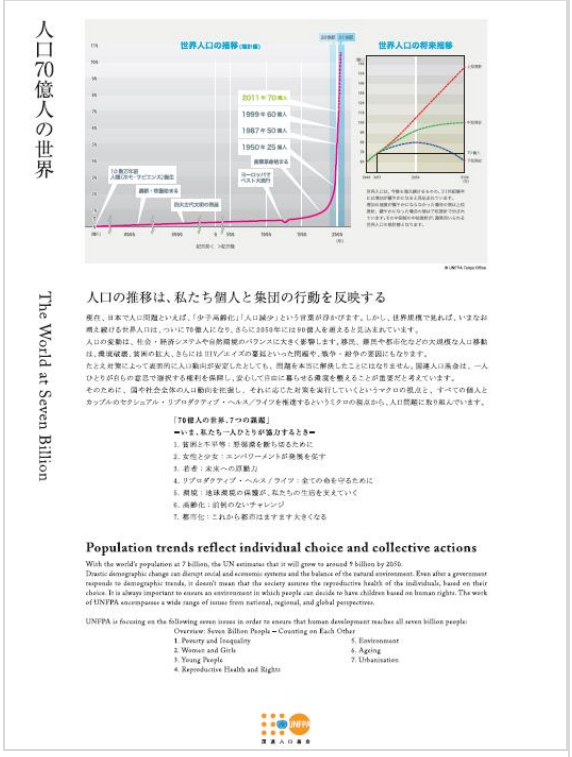
UNFPA, the United Nations Population Fund, is an international development agency that promotes the right of every woman, man and child to enjoy a life of health and equal opportunity. UNFPA supports countries in using population data for policies and programmes to reduce poverty and to ensure that every pregnancy is wanted, every birth is safe, every young person is free of HIV, and every girl and woman is treated with dignity and respect.

UNFPA – because everyone counts.

略歴
ジョセフ・オショティメインは1949年生まれ。ナイジェリアのイバダン大学で医学士、イギリスのバーミンガム大学で医学博士号を取得。国際（ロンドン）熱帯医療学校の修業生。ナイジェリア連邦エイズ国家委員会の事務局長、ナイジェリア連邦エイズ国家委員会の理事などを歴任し、2011年1月に国連人口基金の事務局長に就任。

Dr. Osotimehin was born in 1949. He qualified as a medical doctor from the University of Ibadan, Nigeria, and got a doctorate in medicine from the University of Birmingham in the U.K. He was the Director General of the Nigerian National Agency for the Control of AIDS, which coordinates all HIV and AIDS work in the country. After that position, he served as the Minister of Health of Nigeria. He became Executive Director of UNFPA in January 2011.

IECPN022：人口 70 億人の世界



人口70億人の世界　The World at Seven Billion

人口の推移は、私たち個人と集団の行動を反映する

現在、日本で人口問題といえば、「少子高齢化」「人口減少」という言葉が浮かびます。しかし、世界規模で見れば、いまなお増え続ける世界人口は、ついに70億人に達し、さらに2050年には90億人を超えると見込まれています。
人口の変動は、社会・経済システムや自然環境のバランスに大きく影響します。移民、都市の都市化などの大規模な人口移動は、貧困破壊、資源の乱入、さらには HIV/エイズの蔓延といった問題や、強力・紛争の原因にもなります。
たとえ対策によって表面的に人口動向が安定したとしても、問題を本当に解決したことにはなりません。国連人口基金は、一人ひとりが自らの意思で選択する権利を保障し、安心して日々に暮らせる環境を整えることが重要だと考えています。
そのために、国や社会全体の人口動向を把握し、それに応じた対策を実行していくというマクロの視点と、すべての個人とカップルのセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツを推進するというミクロの視点から、人口問題に取り組んでいます。

「70億人の世界、7つの課題」
―いま、私たち一人ひとりが協力するとき―
1. 貧困と不平等：貧困撲滅を新たなものに
2. 女性と少女：エンパワーメントが発展を促す
3. 若者：未来への投資力
4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ：全ての命を守るために
5. 環境：地球資源の保護が、私たちの生活を支えていく
6. 高齢化：前例のないチャレンジ
7. 都市化：これから都市はますます大きくなる

Population trends reflect individual choice and collective actions

With the world's population at 7 billion, the UN estimates that it will grow to around 9 billion by 2050.
Drastic demographic change can disrupt social and economic systems and the balance of the natural environment. Even after a government responds to demographic trends, it doesn't mean that the society assures the reproductive health of the individuals, based on their choice. It is always important to ensure an environment in which people can decide to have children based on human rights. The work of UNFPA encompasses a wide range of issues from national, regional, and global perspectives.

UNFPA is focusing on the following seven issues in order to ensure that human development reaches all seven billion people:
Overview: Seven Billion People – Counting on Each Other
1. Poverty and Inequality
2. Women and Girls
3. Young People
4. Reproductive Health and Rights
5. Environment
6. Ageing
7. Urbanization

IECPN023：人口統計と政策提言

人口統計と政策提言

Census and Policy Making

人口統計ー復興と開発のための重要なツール

途上国の開発を進めるには、政策の根拠となるデータが必要です。例えば国勢調査では、性別、年齢、世帯、就業状況、住所状況等の人口に関する調査をし、データを取りまとめます。このような各種統計データは、学校、病院、道路、都市インフラなどについての政策提言を行うための重要なツールとなります。

国連がまとめた国勢調査に関する国際基準によれば、10年ごとの実施が推奨されていますが、日本など多くの先進国の国勢調査は定期的に実施されている一方で、開発途上国でのデータを収集・分析することは非常に難しいのが現状です。

そこで国連人口基金は、国勢調査などのデータを集めるために、80カ国以上で財政的・技術的支援を行っています。正確なデータは、特に緊急や自然災害の後に効果的・効率的に復興支援をする際にも必要となります。しかし、災害によってデータ収集のための情報システムが破壊されたときなどは、より一層支援の重要性が増します。例えば、2005年、インドネシアでは津波の被害を受けて多くの人が家を失いました。その際に国連人口基金が支援した人口統計調査により、男女によって被害の度合いが違うかや、必要な社会福祉事業が何処にあるなど、津波の被害を正確に把握すると同時に、復興から開発段階におけるニーズが明らかになりました。

このように国連人口基金の役割は、開発途上国の現状を正確に把握し、政策に反映し、人々の声に応えるための重要な基礎となる部分に関わっています。

Census - Most important tool for recovery and development

In order to advance development in developing countries and formulate relevant policies, we need reliable data such as a population census. It is the primary source of information on the number and characteristics of the population and housing in each locality, and is used for policy formation, helping policymakers plan for the future. Having established an international standard of census, the UN recommends countries to hold census every ten years.

However, it is very difficult to collect and analyze accurate and reliable data in developing countries. Therefore, UNFPA is supporting more than 80 countries financially and technologically.

Reliable data are crucial in planning an effective and efficient response especially following both a humanitarian and an environmental crisis. For example, in Indonesia, where a Tsunami left a half million persons homeless, UNFPA in 2005 supported a provincial census that gives planners a better understanding of the impact of the Tsunami including the different ways women and men were affected and the needs for expanded social services.

UNFPA's census activities play a great role in evaluating and identifying needs in policy making, emergency, reconstruction and development stages.

IECPN024：ミレニアム開発目標

ミレニアム開発目標

Millennium Development Goals

1 目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅 Eradicate Extreme Poverty

2 目標2 普遍的初等教育の達成 Achieve Universal Primary Education

3 目標3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上 Promote Gender Equality and Empower Women

4 目標4 乳幼児死亡率の削減 Reduce Child Mortality

5 目標5 妊産婦の健康の改善 Improve Maternal Health

6 目標6 HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止 Combat HIV/AIDS, Malaria and Other Diseases

7 目標7 環境の持続可能性の確保 Ensure Environmental Sustainability

8 目標8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進 Develop a Global Partnership for Development

出典：UNDP Book

開発のための基本計画

2000年の国連ミレニアム・サミットにおいて、189の加盟国は、共にミレニアム宣言を採択し、協力して世界の貧困に対する支援を行うことに合意しました。このミレニアム宣言に基づき、2015年を達成期限として策定されたのが、8つの「ミレニアム開発目標（MDGs）」であり、具体的な数値目標が示されています。これらの目標は、21世紀の国連の役割に関する明確な方向性を提示しました。このミレニアム開発目標は、開発社会における開発計画の基礎であると同時に、一人ひとりのセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスのライフを推進し、そして女性のエンパワーメントを目指す国連人口基金の取り組みの指針ともなっています。国連人口基金は、そのうちの目標3（ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上）、急を要する目標5（妊産婦の健康の改善）、目標6（HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止）の実現のために重点的に活動しています。

Master Plans for Development

Adopted by 189 countries in the year 2000 and set to be achieved by 2015, the Millennium Development Goals (MDGs) provide concrete, numerical benchmarks for tackling extreme poverty. The MDGs also indicate a framework for the UN's role and activities mainly in social development. Its blueprints guide UNFPA in its efforts to support reproductive health and rights, and advance gender equality. In order to achieve these goals, UNFPA focuses on: gender equality (MDG 3), maternal health (MDG 5), and HIV/AIDS (MDG 6).

IECPN028：国連人口基金から日本への支援

国連人口基金から日本への支援

Support from UNFPA to Japan

東日本大震災の被災地へ「女性支援パッケージ」を配布

国連人口基金は2011年3月の東日本大震災後、パートナーNGOである公益財団法人ジョイセフを通じ、被災地の女性のストレスを軽減し、健康や安全のための物資・情報をまとめた「女性支援パッケージ」を5千個配布しました。パッケージには、歯ブラシやスキンケア用品などの生活必需品から、ブラキャミソール、シューズ、Tシャツ、ソックスなどの衣類に加えて、安眠を促す物質アロマカードや、女性が避難所で健康に過ごすためのパンフレットや電話相談の情報パッケージなど、女性たちの心のケアを含む支援物資が含まれています。寒い時期には厚手の靴下を加え、暑い時期には日焼けおめクリームといったアイテムを増やすなど、その時期に合わせたアイテムを組み込み、被災地の女性のニーズにきめ細かく対応しました。地元の助産師、保育士、市民団体、企業、学生ボランティアの協力を得ながら被災地の女性に届けられました。

「女性支援パッケージ」の内容
- トートバッグ　・歯ブラシ　・スキンケア用品
- 女性用下着（ブラキャミソール&シューズ）
- Tシャツ　・靴下　・アロマカード
- 情報パッケージ（被災地の女性たちが健康に安全に過ごすための情報）

※その他時期に合わせたアイテムを含む
（寒い時期には厚手の靴下、暑い時期には日焼け止めクリーム）
※妊産婦用にはマタニティウェア、妊娠線を薄くするクリームを含む

Women's Assistance Packages Distributed after the Great Japan Earthquake

In response to the Great Japan Earthquake that took place on March 11, 2011, United Nations Population Fund, in collaboration with its partner NGO, JOICFP, delivered 5,000 Women's Assistance Packages to women in affected areas. The main objectives of this project were to relieve stress and to disseminate critical information regarding health and safety. The Packages comprised of daily necessities including skincare goods, tooth brushes, women's undergarments, socks, aromatherapy cards, and informational materials. Depending on the season, contents of the package changed: for instance, thick socks were included in the initial packages, while sun block was added during the summer months. With the support of local midwives, health workers, community-based organizations, companies and student volunteers, the package was distributed to women in affected areas to satisfy their otherwise unmet needs.

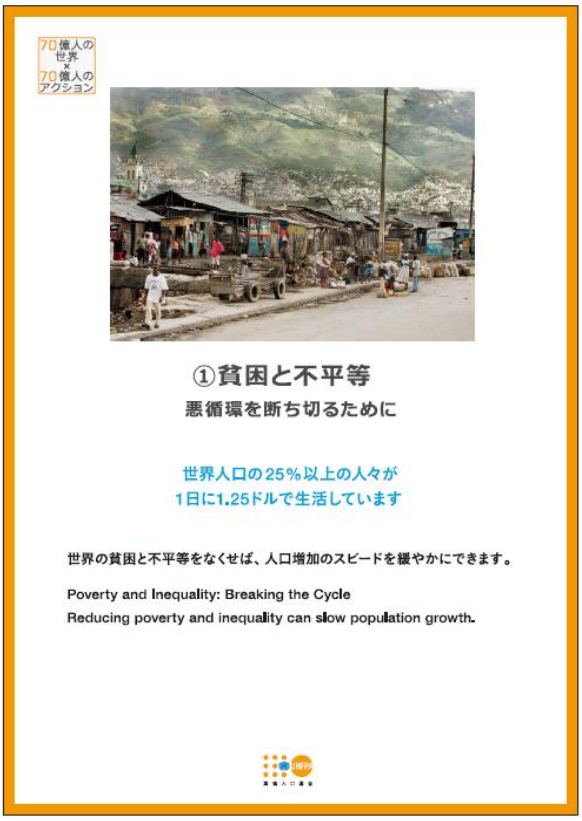
Women's Assistance Packages contains items listed below:
- Tote bag · Tooth brush · Skincare goods · Women's undergarments · T-shirt · Socks · Aromatherapy cards
- Informational materials (Information necessary for women in the affected areas to lead safe and healthy lives)

*Contents of the packages reflect seasonal needs (thick socks in winter and sun block in summer)
*Maternity packages includes maternity wear and massage cream for stretch marks

パネル 2）70 億人の世界

IECPN029：70 億人の世界、7 つの課題

IECPN031：①貧困と不平等



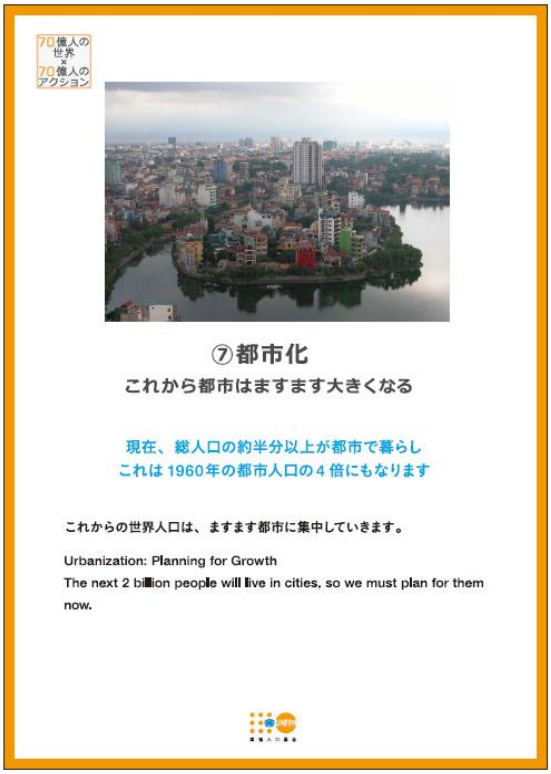
IECPN032：②女性と少女

IECPN033：③若者

IECPN035：⑤環境

IECPN036：⑥高齢化

IECPN037：⑦都市化



パネル 3）国連人口基金の活動@アフガニスタン

IECPN039:

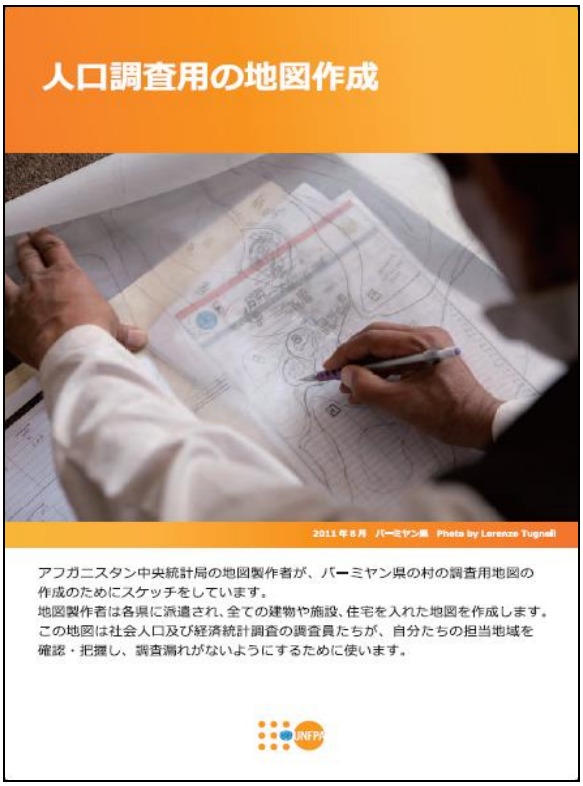
国連人口基金の活動@アフガニスタン

IECPN040:

32 年ぶりに行われる人口調査に使用される調査票

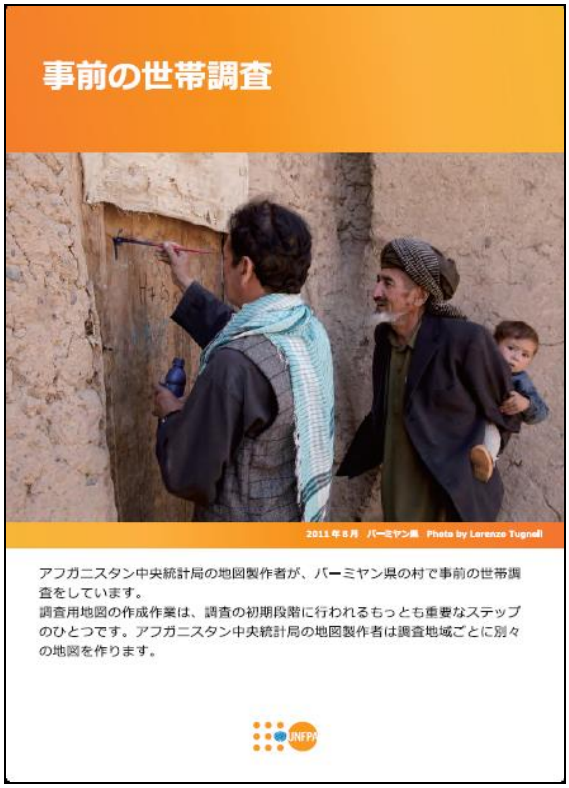
IECPN041:

人口調査用の地図作成



IECPN042:

事前の世帯調査



IECPN043:

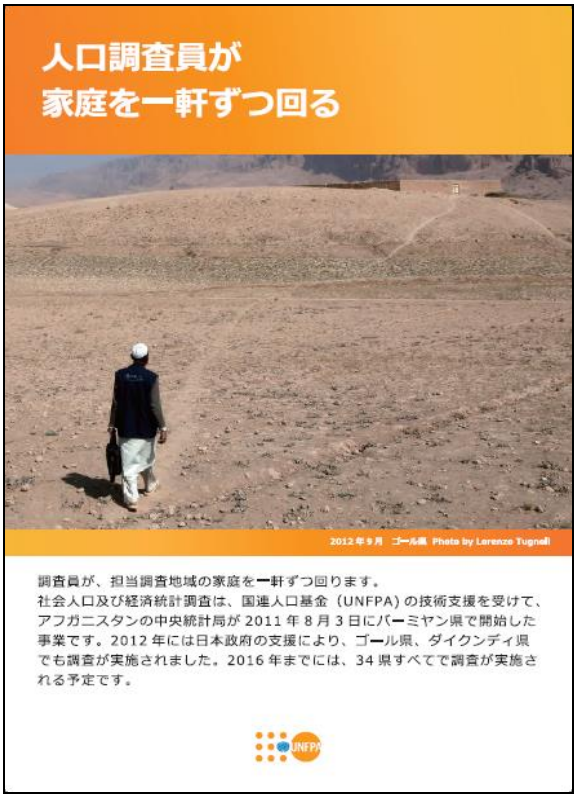
人口調査員・監督者の訓練

IECPN044:

人口調査員として活躍するフェルミュタさん

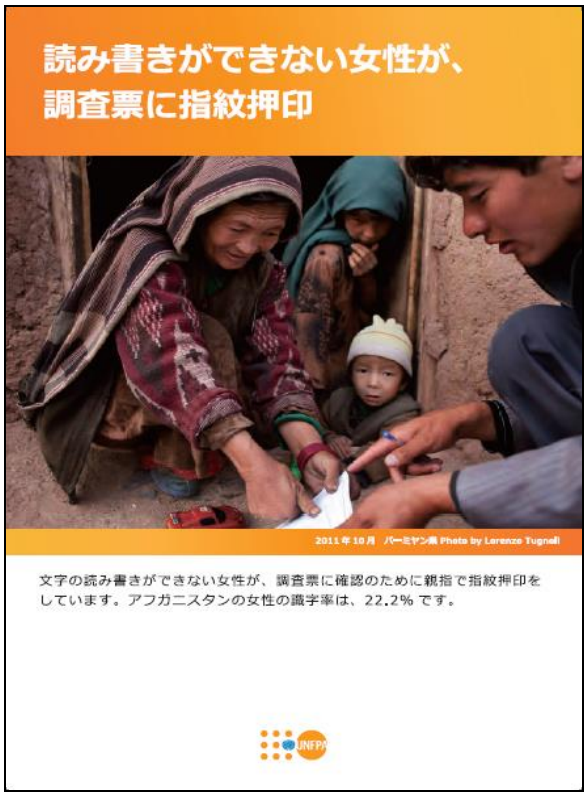
IECPN045:

人口調査員が家庭を一軒ずつ回る



IECPN046:

読み書きできない女性が、調査表に指紋押印



IECPN047:

人口調査票をチェックするミナさん

IECPN048:

女性医療従事者 1000 人の一般女性に対したった１人

IECPN049:

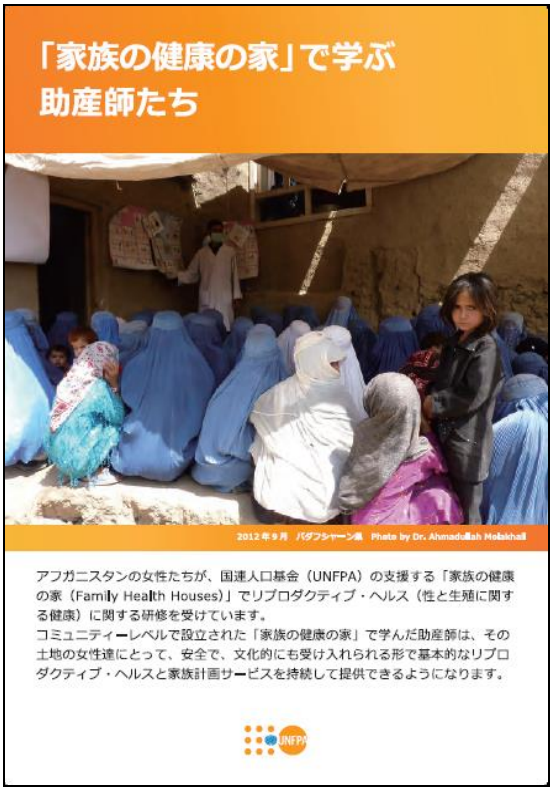
マフライ産科病院で手術を待つ女性たち

IECPN050:

助産師教育プログラムを受けるロヤさん

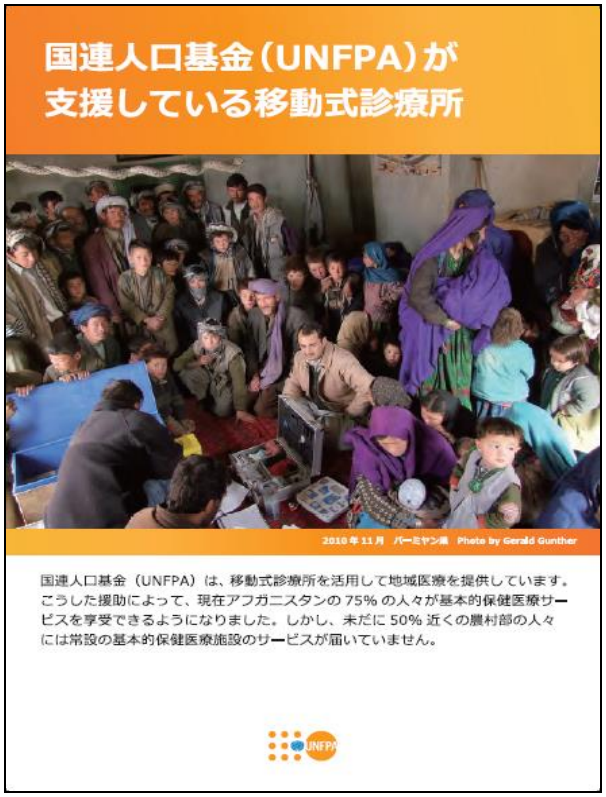
IECPN051:

「家族の健康の家」で学ぶ助産師たち



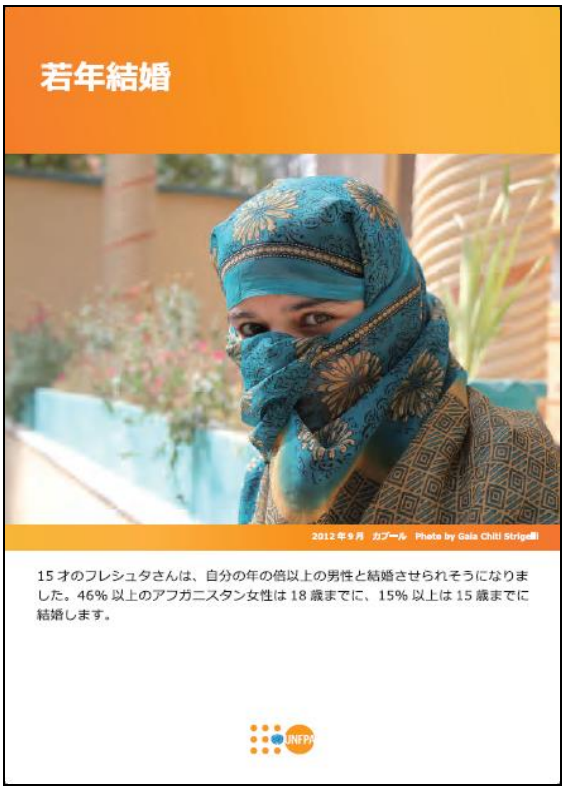
IECPN052:

国連人口基金（UNFPA）が支援している移動式診療所



IECPN053:

若年結婚



IECPN054:

ジェンダーに基づく暴力（GBV）に関する研修

パネル 4）世界人口デー

※画像は英語版です。日本語版は、タイトル部分だけが日本語になっていますが、
写真は日本語版も英語版も同じです。

【日本語版】

IECPS002J: 妊産婦の命を救う

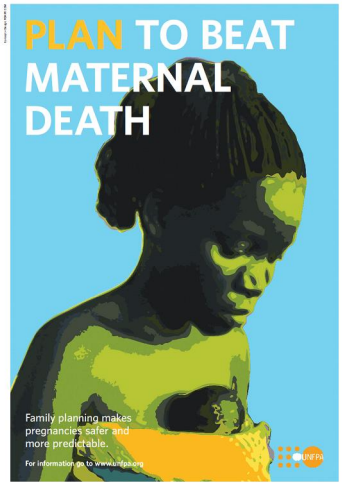
IECPS003J: 貧困とたたかう ①

IECPS006J: 平等な社会をつくる ②

【英語版】

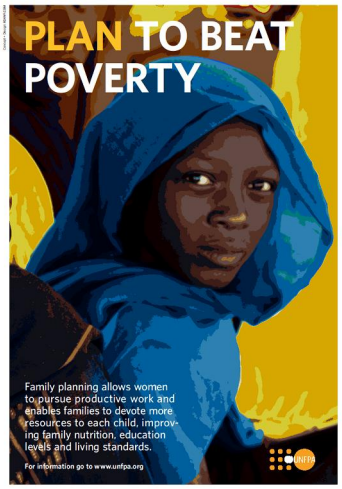
IECPS002E:

Plan to beat maternal death



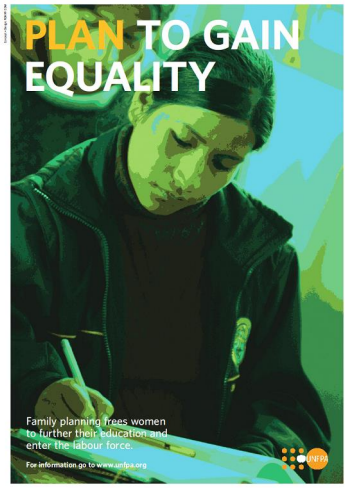
IECPS003E:

Plan To Beat Poverty①



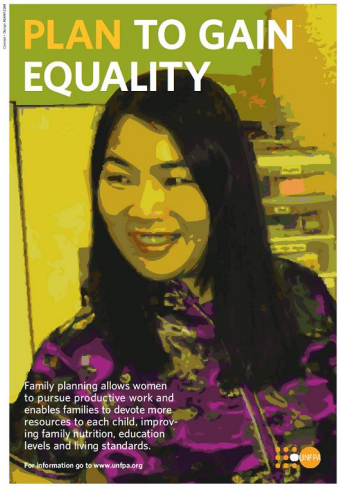
IECPS005E:

Plan To Gain Equality①



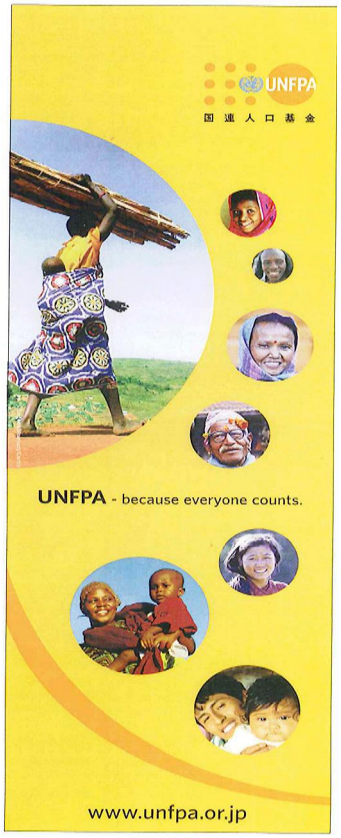
IECPS006E:

Plan To Gain Equality②

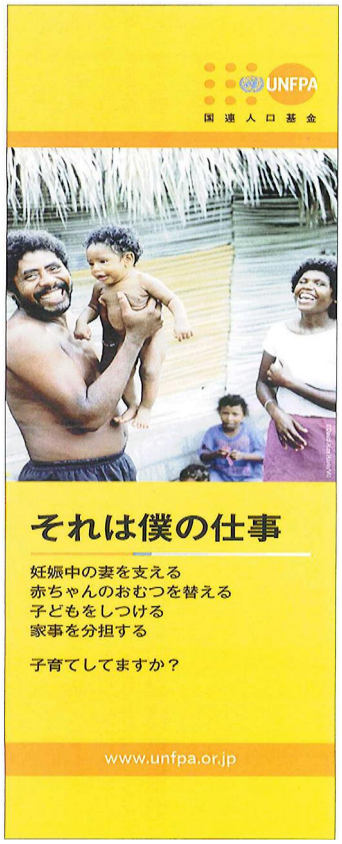


バナー

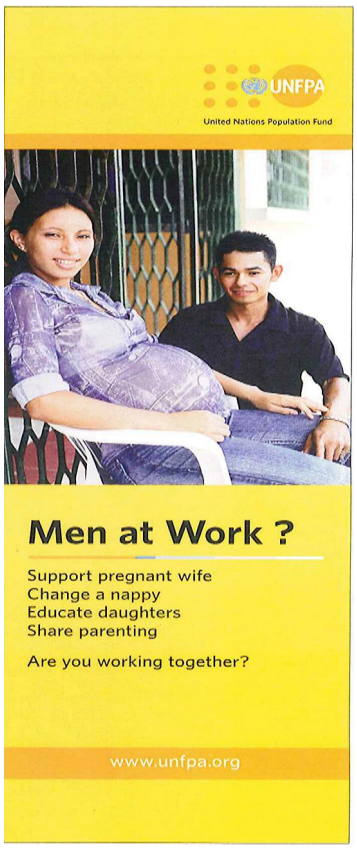
IECBN000: UNFPA



IECBN001: それは僕の仕事

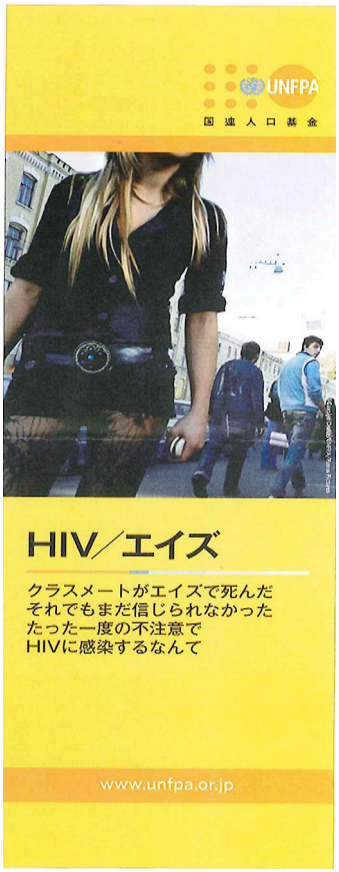


IECBN002: Men at Work?



IECBN005: 緊急人道支援

IECBN006: HIV/エイズ



IECBN007: 1 人ひとりは数字じゃない

IECBN008: 人口 70 億人の世界　　IECBN010: ミレニアム開発目標

タペストリー

IECTP001:海外における国連人口基金の緊急人道支援活動

トリビアカード

「70 億人の世界」の「7 つの課題」をテーマにしたトリビアをクイズ形式にし、カードの表にクイズ、裏に回答が書かれています。（トリビア一覧は http://www.70okunin.com/trivia 参照）

【3. 展示方法及び留意点】

■　パネル（大サイズ：W75cm×H100cm　中サイズ：W60 cm×84 cm）

パネルの裏面上部に穴の付いた金具が付いていますので、ワイヤーやひもで上から吊るす、または金具に画鋲を通して壁にとめてください。

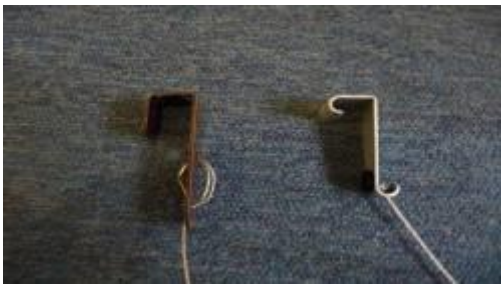
- パネルの裏に付いている穴付きの金具は外れやすくなっています。展示する際、またご返却いただく際には、金具が外れていないか再度ご確認ください。
- パネルはコーティングがされていないため、水に触れますと文字部分のインクがにじんでしまう可能性があります。雨や水滴が触れたり、また濡れた布巾で拭かないようにお願いいたします。
  - ✧　雨点時の屋外での展示はご遠慮ください。
- パネルの外枠は、その部分だけを手で掴み持ち運びますと外れやすくなってしまいます。特に、上部はご注意ください。パネルを運搬する際には、パネルの両側をお持ちください。

＜ワイヤーで吊るす場合＞

＜画鋲とひもで吊るす場合＞

＜画鋲で留める場合＞

＜専用ワイヤー＞



※専用のワイヤーをご用意していますが数に限りがあります。また、展示する壁やボードの厚さにより使用できない場合がありますので、ワイヤー使用をご希望の場合は、まずご相談ください。

■　世界人口デーパネル（W32cm×H57cm）

パネルはフレームに入っています。フレームの上部に穴の開いた金具が付いていますので、その穴に画鋲を通してとめて下さい。また、裏に付いたマグネットでとめることもできます。

■　バナー（W59cm×H178cm）

専用のスタンドに取り付けて展示します。また、四隅に穴が開いているので、スタンドを使わずに画鋲で壁にとめることもできます。粘着テープ等の使用は厳禁です。

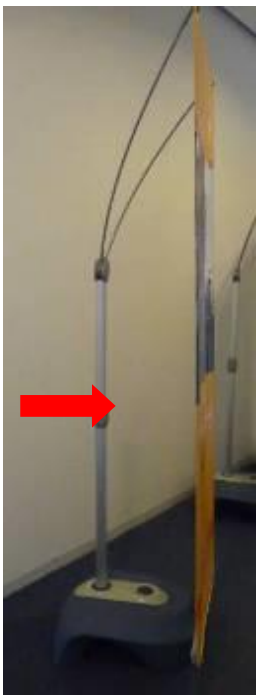
片面使用のスタンドの場合はスタンド 1 つにつき 1 枚のバナー、両面使用のスタンドの場合はスタンド 1 つに 2 枚のバナーを取り付けることができます。

- スタンドの土台部分には水や砂を入れないようにお願いします。
- スタンド棒のねじ部分（赤い矢印部分）はきつく締めすぎると、ひびが入る恐れがありますのでご注意ください。
- バナーは折らずに巻いて収納してください。

＜画鋲で留める場合＞

＜スタンド使用の場合＞

片面用スタンド



両面用スタンド

※スタンドのサイズ

土台部分- 42cm×53cm×24cm

棒部分- 85cm～151cm 伸縮

■　留意点

- 展示会終了後は、返却期限厳守でご返送ください。
- 展示物およびケースの取り扱いには十分ご注意ください。
- 返送の際は、送付された時と同じ状態でケースに入れてご返却ください。
- 展示物および備品を紛失・破損された場合は、再製作にかかる必要額をご負担いただくことがあります。

＜送料の目安＞　※ヤマト運輸を利用した場合

送付物	北海道	北東北	南東北・関東・北陸・信越・中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
パネルケース（パネル大サイズ 10 枚まで）	～2,530 円	～1,780 円	1,470～1,750 円	～1,890 円	～1,990 円	～2,150 円	～2,380 円	3,950 円
世界人口デーパネル（5 枚まで）	1,790 円	1,470 円	1,370 円	1,470 円	1,580 円	1,680 円	1,790 円	2,840 円
バナースタンドケース（バナースタンド+バナー）	2,000 円	1,680 円	1,580 円	1,680 円	1,790 円	1,890 円	2,000 円	3,360 円

※上記の金額は送料のおおよその目安です。発送地域、総量によって金額が変わります。

【4. パンフレット】

展示物とともに、A4 の三つ折りパンフレットも提供しています。申し込みフォームにて希望部数をお知らせ下さい。

「-国連人口基金-日本とのパートナーシップ」

■　展示に関するお問い合わせ

ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
国連人口基金（UNFPA）東京事務所
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前 5-53-70　国連大学ビル 7 階
TEL：03-5467-4684　/　FAX：03-5467-8556
E-mail：tokyo.office@unfpa.or.jp　/　www.unfpa.or.jp